

みなかた くまぐす  
**南方熊楠貝類コレクション展**

—— 南海の偉人 熊楠と貝との出逢い ——

期間 2018年10月18日(木)~11月20日(火)



南方熊楠(生1867年4月~没1941年12月)は、和歌山で生まれ育った世界的に有名な博物学者です。19歳よりアメリカ、イギリスなどを游学しながら動植物を採集、粘菌を中心に研究し、国内外に多くの論文を発表しました。

この業績により日本に「ミナカタ」ありと世界の学者達に影響を与えました。熊楠は、日本の天文学、植物学、鉱物学、宗教学、民俗学などにも多くの足跡を残しています。また、南方熊楠は貝類も収集しており、その総数は 398 種類 2,077 点に及んでいます。

特別展では、これらの貝類標本(木箱30ケース)を中心に、熊楠ゆかりの品の筆やルーペ、引出し標本、自筆の標本ラベル、当時の百科事典にあたる「動物綱目」を全ページにわたり自ら書き写した写本など、貴重な南方熊楠貝類コレクションを一挙公開いたします。

- ① ジャクソンビルでの熊楠(24歳) ② エビ網漁などによく掛かるヨウラクガイ ③ 綺麗な小箱入りのシロロカニモリ ④ 今も美しい色をしているナデシコガイ  
⑤ ユニークな形をしたカタベガイ ⑥ 真珠付きのアラフラ海のシロチョウガイ ⑦ 自筆で輪法と書かれたリンボウガイ ⑧ オーストラリアの珍種ベッコウダカラ  
⑨ 熊楠ゆかりの筆と絵具皿と3重のルーペ ⑩ 自筆で、ワカ山「和歌山」と書かれた丸い紙ケースとヤマタニシ ⑪ 田辺湾産と思われる小型の貝類の標本

① 肖像写真提供 南方熊楠顕彰館(田辺市) ②~⑪ 標本資料提供 南方熊楠記念館(白浜町)